

パブリックコメントで頂いた意見に対する市の考え方

No	意見の概要	意見に対する市の考え方（考慮した結果及びその理由）
1	<p>(計画書) 76・77ページの「市民に向けた情報発信の充実」に次の一文を追加していただきたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・76ページ No22「埋蔵文化財センター運営事業」の文末に「するとともに、市民共同参画展示を実現する」 ・77ページ No23「咸宜園教育研究センター運営事業」の「咸宜園に関する講演会・講座を実施する」に「するとともに、市民共同参画展示を実現する」 ・77ページ No26「博物館企画運営展示」の「博物館の企画展を実施する」にするとともに「市民共同参画展示を実現する」 <p>(概要版) ・7ページ 【方針12】② 学習機会の充実の「文化財に関する体験機会の提供」に「と子ども学芸員による展示」</p>	<p>(計画書) 見直し後の計画(案)94ページの「第6章 文化財の保存・活用に関する現状と課題・方針・措置」の「3.文化財の保存・活用に関する措置」の「No.57 文化財保護事業」として「埋蔵文化財センター、咸宜園教育研究センター、博物館などの各展示施設において、子ども学芸員による展示体験や市民協働参画展示を検討する」こととします。</p> <p>(概要版) いただいたご意見を踏まえ、概要版7ページに「文化財関連施設の市民協働参画の検討」を記載します。</p>
2	<p>1. ⑧日田代官による支配P39で「慶応4年に窪田代官が肥後に逃亡した」迄は有るがその後の記述がない 日田の歴史上最大の騒擾と言える明治3年11月17日から始まった百姓一揆「武槍騒動」の事が記されて無い。御一新となり日田県が発足し、松方正義が県知事となった。明治2年の大凶作が起因し、郡内に餓死者が数多く出た程であるが年貢救済の処置はなく、かえって増税の憂き目に端を発している事件である。11月20日までの3日間で打壊わし戸数延190戸、騒動中の死傷者多数、事後の処刑者5名斬首される。</p> <p>2. 資料編、記述の間違い P9～P12まで名称物件と種別が不一致・・・15件 例・・・〇〇橋、――寺社 等の記入</p> <p>3. 資料編、同一物件と思われる物 P11～P26まで 1件か P26 滝の名前等</p>	<p>1について 明治時代の事柄であるため、見直し後の計画(案)51ページの「第1章 日田市の概要」の「3. 歴史的環境」の「③ 日田市の誕生」に、いただきましたご意見内容を追記いたしました。</p> <p>2・3について いただきましたご指摘を踏まえ、資料編に記載していますすべての未指定文化財の類型を見直しました。</p>
3	<p>1. 官民一対一となった取り組みの環境づくり</p> <p>①市民一人一人の啓発も大切だが、先ずは市の行政を担っている市職員の方々が率先して職員研修などを通して市民をリードして欲しい。</p> <p>②市民が文化財に親しむ環境づくりとして、ひたはしり号を活用した文化財施設（石井の穴観音や萩尾の埋蔵文化財センターなど）の見学（施設めぐり）などを企画したら如何でしょうか。</p> <p>2. 既存の組織やグループの支援</p> <p>①市内にはいろいろな文化サークルや組織があるので、その活動の存在や実態を把握し、支援・協同（協働）して育てて欲しい。</p>	<p>1-① 文化財の保存・活用にあたりましては、商工、観光、まちづくり、防災、都市計画等の関連業務を所管する庁内他部局との連携が不可欠となります。そのためにも、まずは、関係部局の職員に対し、本計画の周知を図りながら、理解を深めてまいりたいと考えます。</p> <p>1-② いただきましたご意見を踏まえ、「ひたはしり号」沿線に所在します文化財や文化財施設等の情報をバス利用者にお知らせするなどして、市民の皆さんが「ひたはしり号」を活用して、文化財施設を巡ることができる環境を整えてまいりたいと考えます。</p> <p>2-① 文化財の保存・活用を図るためには、文化財を支える人材の育成を図ることも必要となってまいります。そのためにも、文化財活動団体の調査をはじめ、団体の自主的・継続的な活動に対する支援、団体間の交流や情報交換の促進並びに文化財市民サポーター制度の創設など、市民参画の仕組みづくりについて検討を進めてまいります。</p>

パブリックコメントで頂いた意見に対する市の考え方

No	意見の概要	意見に対する市の考え方（考慮した結果及びその理由）
4	<p>意見書・文化財保護と提示の仕方について少し意見を申し上げます。 日田市のすばらしいところは、文化財が沢山残っていることだと思います。これは文化的知識の豊富な人が多く、又、他地域（京都、大阪、東京、博多等）との交流で文化、経済等に影響を受けていると思います。時代ごとに（古代、中世、近世、近代、現代）どの時代をとってもすばらしいものが残っていると思います。 これからの日田市を見ると、人口減少と高齢化の中で、将来へそのままの状態を残すことは困難だと思います。そこで現状を住民に訴え、活動してもらうようにする。このことが日田市のアピールになり、観光にもつながっていきけると思います。</p> <p>※実際のとりくみ</p> <p>①・地域の重要文化財（建物、道具、古文書、生活用品の解説等）の保存場所、道順（表示板） ・ルートマップの作成・どこにあるか等 ・いつでも自由に見てわかるパネル等</p> <p>②観光案内所の活用 ・もっと人目のつ場所で、案内できるようにする ・駅前をもっと有効に ・町の中に休憩場所の設置 ・スマートホン、ケイタイ、インターネット等の活用</p> <p>③バス、無料又は有料の車の準備（時間を決めて利用者に提示）</p>	<p>現計画では、文化財を観光・まちづくりの地域資源として活用するため、関係各課及び団体・事業者等と連携し、個々の文化財を結び付けながら、周遊ルートの設定、市民が楽しみながら学んだり、人に伝えたりすることができるイベントの創出及び施設等に関する情報発信に取り組むこととしております。 このため、来年度以降、いただきましたご意見も踏まえながら、具体的な事業内容について検討を行ってまいりたいと考えます。</p>
5	<p>日田は阿蘇の噴火でできた日田石の産地です。県立美術館3階の床は日田石で作られています。日田石で作られた石造物、特に石造アーチ橋が度重なる水害によって被害を受けています。県指定の筏場眼鏡橋は流失してしまいました。残された小月橋をはじめとする石造アーチ橋を保存活用してください。院内町や耶馬溪町では橋を見るビュースポットを作り、観光客を呼び込んでいます。アーチ橋のある景観は日田にとって大切な財産です。災害からの保護と活用をぜひ進めてください。</p>	<p>ご意見をいただきました「石造アーチ橋」を含む未指定文化財の効果的な保存・活用を図るためにも、まずは、文化財の総合把握調査を行い、調査により見出した価値に基づき、有識者及び市民等により適切な評価を行ってまいりたいと考えます。そして、評価や緊急度に応じ、保存のための適切な措置を講じてまいりたいと考えます。 また、このような整備に向けた取組とは別に、広報等を活用しながら、地域に残る石橋アーチ橋について、市民の皆さんに広く知っていただくような機会の創出に努めてまいります。</p>
6	<p>高瀬地区公民館では10年程前から「淡窓・ウオーク・イン高瀬」として淡窓先生の歩いた道をたどりながら、地区にある文化財めぐりをしています。 同じように各地区で文化財をめぐる周遊ルートをつくってみるのも一興かと思えます。ルートの案内人として小中学生（子ども）たちを育てたりすることで「知る」「活かす」ことにもつながるのではないかと考えます。</p>	<p>文化財の活用による市民の文化財愛護精神の涵養を図るため、学校教育（総合的な学習）や社会教育（公民館活動）を所管いたします関係各課との連携を強化し、学習機会の充実に取り組んでまいりたいと考えております。</p>

パブリックコメントで頂いた意見に対する市の考え方

No	意見の概要	意見に対する市の考え方（考慮した結果及びその理由）
7	<p>文化財を知るーデジタルコンテンツの活用は大賛成です。ただその企画や露出の方法はいろんな角度から検討されます様お願いいたします。文化財といっても、見る側の立場でどのように受け取るかは不明です。又、定期的に内容変更も必要だと思われます。人は変化で動きます。変化しないと興味を持たなくなります。</p> <p>また、小学校4年から6年を対象とした講座あるそうですが、一般の方にも興味を持てるように、例えば老人会や公民館などでの講座で知ってもらおう工夫も考えてはいかがでしょうか。</p> <p>防災 小鹿田焼の里文化的景観は良いことだと思われます。ただ今回の災害で池ノ鶴地区の棚田水田は甚大な被害を受け、皿山も大変な状況と報道で知りました。隣のうきはの棚田みたいな形での運営ができていればいいと思いますが、池の鶴地区はどうなのでしょう。諸々詳しく知らなくて失礼ですが、単純に文化財と住民の生活の両立が望ましいことです。それがかなわない場合は住民の生活が優先されるのではないのでしょうか。担当職員は大変でしょうが、住民の思いと文化財の意義に狭間でしっかりと対処して頂きたく存じます。報道からは住民の不満が聞こえてきました。災害は毎年発生しても不思議でない状況になりました。住民とのすり合わせが出来なければ、工事が遅れ再度の災害 が懸念されます。対処済みでしたら申し訳ありません。</p>	<p>いただきましたご意見を踏まえながら、今後、デジタルコンテンツの整備に向けた検討を進めてまいります。</p> <p>また、市民の方にも文化財に対する興味・関心を持っていただけるように、関係各課と連携しながら、引き続き、公民館活動における歴史講座の開催や出前講座の実施などの諸事業に取り組んでまいります。</p> <p>令和5年7月豪雨により被害を受けました池ノ鶴地区の棚田を含め、重要文化的景観小鹿田焼の里の景観を守るには、まず何よりも住民の暮らしと生業を守ることであり、そのためには、市として住民の皆さんのご意見を十分に聞きながら、災害対応や観光施策をはじめとする各種施策に取り組んでまいります。</p>
8	<p>1. 地域計画書20ページ、(2)地形 7行目～8行目 「原」の部分に高瀬地域の要望として「陣が原」を入れほしいという意見があります。</p> <p>2. 地域計画書86～88ページ 美しい山々と清流、豊かな自然が育む歴史文化 構成文化財の項目に下記を追加してほしい 名 称 酒呑童子山北西斜面一帯の自然林 指定等区分 未指定天然記念物 概 要 カシノキヅル谷の上流域から下流域にかけてモミ林が分布している。モミ、シキミ、ハイノキ、シロモジなどモミ＝シキミ群落を形成する貴重な森林である。</p> <p>3. 地域計画書52ページ 博物館報告書（刊行物の追加） 「日田市大山町の自然」の次に「日田市 天瀬町の自然 令和5（2023）年」</p>	<p>1について 見直し後の計画（案）の27ページ「第1章 日田市の概要」の「1. 自然的・地理的環境」の「(2)地形」に「陣が原」を追記いたします。</p> <p>2について 見直し後の計画（案）の98ページ「第7章 文化財の総合的・一体的な保存と活用」の「4. 関連文化財群ごとのテーマ、物語の概要及び構成文化財」の「⑫ 酒呑童子山北西斜面一帯の自然林」を追記しました。</p> <p>3について 資料編60ページの「博物館報告書・展示図録」のNo.9に「日田市 天瀬町の自然 令和5（2023）年」を追記しました。</p>

パブリックコメントで頂いた意見に対する市の考え方

No	意見の概要	意見に対する市の考え方（考慮した結果及びその理由）
9	<p>このたびの保存活用地域計画が、真に血となり身となって、将来に亘り光り輝くすばらしい計画となるよう祈念し、次の点について意見いたします。</p> <p>1.市文化財保護委員の活動と活用の明確化 旧郡部はもとより、各地から保護員を配置しているが保護員としての職務や活用が明確でない。又、資質向上のためにも定例会や研修等必要！</p>	<p>文化財保護に係る本市独自の制度となります文化財保護員につきましては、市内における文化財の必要な調査及び研究等を行い、その保存及び有効な活用等を図ることを目的とし、現在、市全域で20名の方を委嘱しています。</p> <p>また、市内における文化財の調査・研究等を行い、会員の教養を高め、地域に寄与することを目的として「日田市文化財保護員協議会」を設置していますが、近年は活動は行われていませんでした。</p> <p>今後、前述の目的を達成するため、ご指摘にございますような本協議会の定例会や研修会の開催に向け、準備を進めてまいります。</p> <p>そして、このような文化財保護員の皆さんが果たす役割の重要性を踏まえ、本計画中の「第9章 文化財の保存・活用の推進体制」-「2. 市民・団体との協働」-「(2) 地域住民との連携」に、文化財保護員の重要性や連携について明記いたします。</p>
	<p>2.市文化財（指定分）の標柱や看板の設置 計画の中でも、知る-守る-活かすの基本理念があるが、せめて指定文化財が何であり、どんな内容（価値）で指定され守り、将来後世に伝えるのかの最低限の標柱や、看板や、説明板が必要である、腐食や損壊があり早急に整備すべき。</p>	<p>現在、市内には国及び県指定の史跡等の標柱につきましては現状把握を終え、適正に管理されていることを確認していますが、市指定の文化財については確認作業ができていません。このため、未指定文化財の総合把握調査を行う中で調査及び現状把握を行い、案内板や標柱の設置など必要に応じた措置を講じてまいりたいと考えます。</p>
	<p>3.民俗文化財資料の保存と活用 旧上津江でも民俗文化財の資料室に展示品がかなりあり管理不十分な面もあり、早急に整備活用しなければ、散逸消失のおそれがある。</p>	<p>ご指摘の未指定文化財につきましては、現状把握調査や価値付けを行った上で、今後の保存・活用について研究してまいりたいと考えております。</p>
	<p>4.豆生野（まみゆうの）神楽の保存対策 明治の中頃が起源とされる、市内でも唯一の豆生野神楽が残っているが、近年の高齢化と少子化、過疎化により、存続が危ぶまれている、地元保存会との早急な対策が必要である。</p>	<p>ご指摘の豆生野（まみゆうの）神楽をはじめといたしました未指定文化財につきましては、本計画の策定作業の中で把握を行い、1,394件となることが判明いたしました。未指定文化財の効果的な保存・活用を図るためにも、まずは、把握した文化財の総合把握調査を行い、調査により見出した価値に基づき、有識者及び市民等により適切な評価を行ってまいりたいと考えます。そして、評価や緊急度に応じ、保存のための適切な措置を講じていまいりたいと考えます。</p>
	<p>5.市指定文化財への対応 市でも、先の合併と共にかかなりの指定文化財があるが、去る一昨年上津江でその一つが（天然記念木）が市に無断で伐採損壊された事案があるが今後も貴重な文化遺産の保護とその対応のための取組みが早急に必要である。</p>	<p>ご指摘のような事案の再発防止を図るためにも、指定文化財の所有者に対し、適切な維持管理に努めていただくよう注意喚起を行ってまいります。</p>

パブリックコメントで頂いた意見に対する市の考え方

No	意見の概要	意見に対する市の考え方（考慮した結果及びその理由）
10	<p>いままでの地域文化の単の保存・継承という手法から、活用しながら保存するという観点には共感します。地域住民として有難いことと思っています。</p> <p>歴史の最小単位は一人の人間の人生と考えます。そして、その人の生まれ育った”家”にも歴史があり伝統が生まれます。</p> <p>さらに、それら家々の集合体が集落であり、一つの地域となります。そこにも歴史・伝統に加え、文化・風俗が生まれてきます。しかし、近い将来、日田周辺の山間部は更なる過疎化が進み、次々と集落が消えていくことが明らかに予測できます。同時にそこにあった歴史・文化・風俗も風化し、忘れ去られていくわけであり、</p> <p>しかしながら、それを守り・保存していくことは”地域住民の役目”と考えます。</p> <p>これには、市からのコーディネート・ご加勢が必要です。財の保存に地域住民がどのように関わるかという課題については是非ともお願いしたいと思います。</p> <p>また、平成の市町村合併から後、広域になったからなのか、旧郡部を始めとする周辺部の文化においても正直なところ、あまり多くを取り上げて頂いてない様に感ずるのは私だけでしょうか。合併によりそれぞれの町村にあった教育委員会も集約されたこともその要因の一つと考えます。日田市広域からの情報の集積・保存には、その機能に代わる仕組み作りが必要と思います。まずは、それぞれの地域住民の声をもっと聞いて頂くことが必要であり、早急に手を打つところは、まだ生の声が聞ける”明治・大正・昭和初期”近代であると考えます。</p> <p>私の地元で例を挙げますと、文化庁によって選定された、文化的、歴史的に重要な由緒を有する道「歴史の道百選」には、大分県内では唯一日田市管内に二か所選定されています。 (http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/kinenbutsu/rekishinomichi/index.html)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日田、中津街道 石坂石畳道（日田市） ・日田、竹田街道 曾田の台石畳道、台神社の石畳道（天瀬町） <p>この件について、この約30年の間、どのような理由で放置されているのでしょうか。また、文化庁のサイトでも日田市のみ、その概要が表記されておらずやや恥ずかしさを覚えます。</p> <p>特に、竹田街道の曾田の台石畳道は、伏木の石坂と双壁といえるものであったのですが、なぜか日田市には指定されておらず、今や荒れて見るも無残な状態です。古代から明治末まで人・もの・情報を運び、また土木遺産としても出来れば保存しておくべき遺跡であったと感じます。</p> <p>まだ市道（旧天瀬町道→日田市道）または、里道としての指定が残っているのであれば、是非ともスポットをあてて頂きたい遺産です。</p>	<p>地域に残された貴重な財産である文化財を将来へと継承していくため、まずは、地域住民自らが、地域の文化財が有する価値について学び、保存・活用の意義を理解することが必要と考えます。</p> <p>そのため、行政としては、各地域の文化財情報を積極的に発信するとともに、社会教育（公民館活動）とも連携しながら、学習機会の充実に取り組んでまいります。</p> <p>その他には、本市独自の文化財保護制度として、地域で大切にされてきた幅広い文化財の顕彰を目的とした地域遺産制度の創設を検討するなど、住民の皆様方のご意見をお聞きしながら、施策へと反映し、地域総がかりで将来への保存・活用につなげていくための仕組みについて考えてまいります。</p> <p>また、ご指摘にございます周辺部の文化財につきましては、本計画において、文化財の総合的・一体的な保存と活用に向け、関連文化財群（地域の多種多様な文化財を歴史的・地域的関連性に基づくテーマや物語に沿って、一定のまとまりとして捉えたもの）を設定する中で、見直し後の計画（案）96～121ページの「第7章文化財の総合的・一体的な保存と活用」の「3. 日田市の関連文化財群」において設定いたしました五つの関連文化財群の中に幅広く盛り込んだところでございます。</p> <p>ご意見をいただきました天瀬町にございます曾田の台石畳道につきましては、石坂石畳道、川原隧道と石畳及び台神社前旧往還石畳と同じく、本計画の関連文化財群にございます「天領日田の商人が育んだ歴史文化」に明記し、それらを相互に結び付け、文化財の多面的な価値や魅力の創出・発信に取り組んでまいりたいと考えます。</p> <p>そのためにも、ご意見をいただきました曾田の台石畳道につきましては、今後、その他の未指定文化財と同じく、総合把握調査を行い、調査により見出した価値に基づき、有識者及び市民等により適切な評価を行ってまいりたいと考えます。</p> <p>また、ご指摘をいただきました「歴史の道百選」のホームページに「日田・中津街道」「日田・竹田街道」の情報が掲載されていない件につきましては、早期に国へ情報を提出し、当該ホームページに掲載されますよう取り組んでいます。</p>